

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年11月16日
タイトル	「くわい」や農業用水の出前授業をしたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年10月18日（火）福山市立川口小学校で5年生87人に福山市地産地消推進課と水土里ネット福山より出前授業をしました。

5、6時間目に5年生全員が集まり福山市地産地消推進課より「地産地消」について、水土里ネット福山より「農業用水」について出前授業をしました。

福山市地産地消推進課の石井主事から地産地消は地元で作られた野菜などを地元で食べる（消費する）という意味であることや福山SUNブランドの野菜や果物についてその中で「くわい」について詳しく説明されました。

くわいは福山城のお堀に植えられていたこと、収穫する時にポンプを使って水圧をかけて収穫すること、加工食品として「くわいっこ」などの製品について説明されました。



くわいについて植付け見学、校庭のミニ田んぼへ植付け、栽培に取り組んできた子ども達。くわいの生産の歴史などを真剣な眼差しで聞いて、しっかりとメモをとっていました。これから収穫や調理実習に向け貴重な授業となったようです。

続いて、水土里ネット福山から農業用水路について説明しました。川口小学校から遠く離れた駅家町から取水していることや除塵機などの施設や排水について説明し、この農業用水路に生息する「スイゲンゼニタナゴ」について説明しました。

取水も排水も川口町のすぐ近くの芦田川からだと思っていた子どもが多くびっくりしていました。説明した土地改良施設を「見たことあるよ！」と教えてくれる子どももいて嬉しかったです。身近にある農業用水路に「スイゲンゼニタナゴ」という絶滅危惧種の魚が生息しているということに素直に驚き「みんなで守らないといけない。」と感じてくれたようでした。



一旦、出前授業を終わり各教室へ移動して「スイゲンゼニタナゴ」のペーパークラフトBOXの作成をしました。各教室を回り、子ども達が色を塗ったり組み立てたりしているのを手伝いながら交流を深めました。みんなで色をぬったり、組立てたり楽しんで作成しました。完成したペーパークラフトBOXは、家に持って帰りお家の人とも「くわい」や「農業用水」について話してほしいと思いました。



ペーパークラフトBOXは、農業用水路を覗いたようになっていて様々な魚や貝を飾ります。「本当にこんな水路になるといいな」「いろんな魚がいるんだな」と言いながら色をぬり、友だち同士で話しながら組立てて完成させました。

出前授業の教室から各教室へ移動するとき荷物が重く困っていると、すぐに何人もの男の子が荷物を運んでくれました。また、帰るときには廊下や階段ですれ違う子ども達が「手伝いましょうか。」と声をかけてくれたり昨年農業体験を取材した子ども達が覚えていて「こんにちは」と声をかけてくれました。みんな明るく元気一杯な子ども達で、また取材で川口小学校を訪問するのが楽しみになりました。

川口小学校では、くわいの収穫見学、校庭にあるミニ田んぼのくわい収穫、くわいを使った調理実習をする予定となっており、水土里ネット福山は、引き続き農業体験に協力することで21世紀土地改良区創造運動に取り組んでまいります。